

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東北財務局長
【提出日】	平成25年8月12日
【四半期会計期間】	第65期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社サトー商会
【英訳名】	Satoh&Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 滝口 良靖
【本店の所在の場所】	仙台市宮城野区扇町五丁目6番22号
【電話番号】	022(236)5600(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 岡本 雄次郎
【最寄りの連絡場所】	仙台市宮城野区扇町五丁目6番22号
【電話番号】	022(236)5600(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 岡本 雄次郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第64期 第1四半期連結 累計期間	第65期 第1四半期連結 累計期間	第64期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	11,029,589	10,907,754	44,530,149
経常利益(千円)	299,083	176,868	1,377,235
四半期(当期)純利益(千円)	269,755	106,838	946,408
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	254,221	120,279	1,031,221
純資産額(千円)	17,701,425	18,384,117	18,371,136
総資産額(千円)	27,789,722	28,455,328	27,788,026
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	30.17	11.95	105.84
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	63.7	64.6	66.1

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済に持ち直しの動きが見られ、また、金融緩和や経済対策への期待感から円安の進行、株価の上昇が続き、消費者心理の改善により個人消費が増加するなど、景気は緩やかではありますが回復の兆しが見られました。

食品業界におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、低価格販売競争の継続や消費者の節約・低価格志向が依然として続いております。一方、原材料の価格高騰や電気料金の値上げの影響、消費税増税など、先行きに対する懸念は払拭されておらず、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと当社グループは、「業種別の市場占有率を高める」を年度方針に掲げ、お客様の立場に立った仕入体制、付加価値の高い商品開発を進めると共に、高い専門性を有した人材の育成に取り組んでおります。また、より一層の経営の効率化を図り、積極的な営業活動を展開してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高109億7百万円（前年同四半期比1.1%減）、営業利益1億25百万円（同51.2%減）、経常利益1億76百万円（同40.9%減）、四半期純利益は、1億6百万円（同60.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、東北各県及び栃木県エリアの新規得意先様の開拓、既存得意先様への更なる深耕の継続を行うと共に、業種別政策を強化するため業態別に専門性の高い提案会を実施してまいりました。また、得意先様のお役に立つため、消費者ニーズに対応した商品開発、メニュー開発、売場づくりのご提案、販売促進活動や調理技術の支援など、お客様と一緒に集客アップにも取り組んでまいりました。商品開発におきましては「JFS A」ブランドを中心とするオリジナル商品、東北各地域の原材料を使用した地産地消商品の開発など、同業他社との差別化戦略に重点を置いた商品の提供に努めました。また、新設営業所を始め売上が堅調に推移したことで、昨年度の大口取引先とのアライアンス解消による影響をほぼ吸収いたしました。急激な円安進行による原材料価格の高騰、新設営業所・災害対策強化など、先行投資により減価償却費を始めとした経費が増加いたしました。

この結果、売上高は95億73百万円（前年同四半期比1.1%減）、セグメント利益（営業利益）は1億89百万円（同35.0%減）となりました。

小売業部門におきましては、主要顧客であります中小飲食店業者様への提案強化として、ダイレクトメールによる「C&Cメンバーズインフォメーション」を発行し、お役に立つ情報の提供に努めてまいりました。また、居酒屋・弁当商材をテーマにしたメニュー提案や売場づくりもを行い、業者会員様への売上は好調に推移いたしました。一般のお客様には「JFS A」ブランド商品の販売促進を行い、魅力ある業務用食品販売店として、専門的な商品の訴求を積極的に行ってまいりました。一方、急激な円安による仕入価格への影響、復興需要の収束から市場が沈静化するなかで、新設店舗の先行投資、効率的なシステムの全店舗導入を進めたことにより減価償却費を始めとした経費が増加いたしました。

この結果、売上高は13億33百万円（前年同四半期比0.8%減）、セグメント利益（営業利益）は52百万円（同41.0%減）となりました。

(2)財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ6億67百万円増加し、284億55百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1億13百万円、有価証券が4億円、商品が46百万円、有形固定資産が77百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ6億54百万円増加し、100億71百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が5億10百万円、賞与引当金が1億72百万円それぞれ増加し、未払法人税等が1億46百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ12百万円増加し、183億84百万円となりました。これは主に、四半期純利益1億6百万円、剰余金の配当1億7百万円及びその他有価証券評価差額金13百万円の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は64.6%（前連結会計年度末66.1%）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,024,000
計	23,024,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数 (株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,152,640	9,152,640	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	9,152,640	9,152,640		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		9,152,640		1,405,800		1,441,680

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 211,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,933,500	89,335	
単元未満株式	普通株式 8,040		
発行済株式総数	9,152,640		
総株主の議決権		89,335	

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)サトー商会	仙台市宮城野区扇町 5 - 6 - 22	211,100		211,100	2.3
計		211,100		211,100	2.3

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,774,770	1,902,222
受取手形及び売掛金	5,156,613	5,270,541
有価証券	7,500,000	7,900,000
商品	1,781,465	1,828,418
その他	557,968	445,238
貸倒引当金	14,663	10,767
流動資産合計	16,756,155	17,335,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,802,967	1,850,050
土地	3,994,426	3,994,426
その他(純額)	435,953	466,055
有形固定資産合計	6,233,347	6,310,531
無形固定資産	84,791	79,919
投資その他の資産		
投資有価証券	3,517,064	3,540,076
その他	1,214,992	1,222,460
貸倒引当金	18,324	33,313
投資その他の資産合計	4,713,732	4,729,224
固定資産合計	11,031,871	11,119,675
資産合計	27,788,026	28,455,328
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,508,081	8,018,957
短期借入金	580,000	580,000
未払法人税等	255,200	108,830
賞与引当金	251,797	423,983
その他	598,027	746,846
流動負債合計	9,193,106	9,878,617
固定負債		
退職給付引当金	15,730	16,947
役員退職慰労引当金	189,614	147,876
資産除去債務	5,785	5,811
その他	12,653	21,959
固定負債合計	223,783	192,594
負債合計	9,416,890	10,071,211

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,717	1,441,717
利益剰余金	15,696,707	15,696,247
自己株式	187,630	187,630
株主資本合計	18,356,593	18,356,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,542	27,982
その他の包括利益累計額合計	14,542	27,982
純資産合計	18,371,136	18,384,117
負債純資産合計	27,788,026	28,455,328

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	11,029,589	10,907,754
売上原価	9,193,183	9,124,855
売上総利益	1,836,405	1,782,899
販売費及び一般管理費	1,579,067	1,657,381
営業利益	257,338	125,517
営業外収益		
受取利息	16,439	22,623
受取配当金	3,217	3,757
持分法による投資利益	8,105	10,010
受取賃貸料	13,327	13,282
その他	4,594	5,877
営業外収益合計	45,685	55,550
営業外費用		
支払利息	747	721
賃貸収入原価	3,121	3,478
その他	70	-
営業外費用合計	3,939	4,199
経常利益	299,083	176,868
特別利益		
補助金収入	134,660	-
その他	3,114	-
特別利益合計	137,774	-
特別損失		
固定資産除却損	151	1,737
特別損失合計	151	1,737
税金等調整前四半期純利益	436,707	175,130
法人税、住民税及び事業税	152,302	116,368
法人税等調整額	14,649	48,076
法人税等合計	166,951	68,291
少数株主損益調整前四半期純利益	269,755	106,838
四半期純利益	269,755	106,838

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	269,755	106,838
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	15,533	13,440
その他の包括利益合計	15,533	13,440
四半期包括利益	254,221	120,279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,221	120,279
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	61,929千円	74,244千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	107,298	12	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	107,298	12	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	9,684,881	1,344,708	11,029,589		11,029,589
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	9,684,881	1,344,708	11,029,589		11,029,589
セグメント利益	291,904	89,691	381,595	124,257	257,338

(注)1. セグメント利益の調整額 124,257千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	9,573,868	1,333,886	10,907,754		10,907,754
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	9,573,868	1,333,886	10,907,754		10,907,754
セグメント利益	189,600	52,956	242,556	117,038	125,517

(注)1. セグメント利益の調整額 117,038千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	30円17銭	11円95銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	269,755	106,838
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	269,755	106,838
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,941	8,941

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

株式会社 サトー商会

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 谷藤 雅俊 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高原 透 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サトー商会の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サトー商会及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。